

土木工事積算基準（平成27年5月）の一部修正 修正比較表（その4）

〇〇〇：削除  
太字：追記・修正

ページ番号	現 行	ページ番号	修 正	備 考（内容）															
Ⅱ 基礎積算編																			
Ⅱ－１－５	<p>（２）作業土工 「平成26年度国土交通省土木工事積算基準書Ⅱ－１－③作業土工」、によるものとする。 （ただし、人力掘削における基面整正については「平成25年度国土交通省土木工事積算基準書Ⅱ－１－③－１機械土工（土砂）２－３ 床掘（作業土工）補助労務（２）基面整正」によるものとする。</p> <p>第３．舗装版破碎工 第３－１．舗装版破碎工（機械・管路掘削工事）</p> <p>１．適用範囲 この資料は管路掘削工事における、コンクリート舗装版、アスファルト舗装版、コンクリート＋アスファルト舗装版の破碎作業及び掘削、積込の作業に適用する。</p> <p>２．機種の選定 機種・規格は、図２－１及び表２－１を標準とする。</p> <table><tr><th colspan="2">工 種</th><th colspan="2">施 工 工 程</th></tr><tr><td colspan="2">舗装版切断</td><td>舗装版破碎</td><td>掘削・積込</td></tr><tr><td rowspan="3">使用機械</td><td rowspan="3">コンクリートカッタ ※「舗装切断工」による</td><td colspan="2">直接掘削・積込 バックホウ</td></tr><tr><td>コンクリート圧碎機 ＋ バックホウ (ベースマシン)</td><td rowspan="2">掘削・積込 バックホウ</td></tr><tr><td>大型ブレーカ ＋ バックホウ (ベースマシン)</td></tr></table> <p>図２－１ 機種の選定</p>	工 種		施 工 工 程		舗装版切断		舗装版破碎	掘削・積込	使用機械	コンクリートカッタ ※「舗装切断工」による	直接掘削・積込 バックホウ		コンクリート圧碎機 ＋ バックホウ (ベースマシン)	掘削・積込 バックホウ	大型ブレーカ ＋ バックホウ (ベースマシン)	Ⅱ－１－５	<p>（２）作業土工 「平成26年度国土交通省土木工事積算基準書Ⅱ－１－③作業土工」、によるものとする。 （ただし、人力掘削における基面整正については「平成25年度国土交通省土木工事積算基準書Ⅱ－１－③－１機械土工（土砂）２－３ 床掘（作業土工）補助労務（２）基面整正」によるものとする。</p> <p>第３．舗装版破碎工 <del>第３－１．舗装版破碎工（機械・管路掘削工事）</del></p> <p>１．適用範囲 <b>本資料は、コンクリート舗装版、アスファルト舗装版及びこれらの重複舗装版の破碎作業及び掘削・積込の作業に適用する。</b></p> <p>２．工種の選定</p> <div><p>破碎する舗装版の厚さ</p><p>15 c m以下                      15 c mを超えるもの</p><p>管路掘削工事(機械)              舗装工事等(機械・人力)</p><p>3. 管路掘削工事 (機械)による                      4. 舗装工事等 (機械・人力)による</p><p>図２－１ 工種選定フロー</p></div> <p>●適用基準の修正</p> <p>３．管路掘削工事（機械） （１）適用範囲 「平成26年度水道事業実務必携 第二編 1－1－3 舗装版取壊し積込歩掛表（1）適用範囲」によるものとする。 （２）施工歩掛 「平成26年度水道事業実務必携 第二編 1－1－3 舗装版取壊し積込歩掛表（2）施工歩掛」によるものとする。 （３）単価表 「平成26年度水道事業実務必携 第二編 1－1－3 舗装版取壊し積込歩掛表（3）単価表及び（4）機械運転表」によるものとする。</p>	
工 種		施 工 工 程																	
舗装版切断		舗装版破碎	掘削・積込																
使用機械	コンクリートカッタ ※「舗装切断工」による	直接掘削・積込 バックホウ																	
		コンクリート圧碎機 ＋ バックホウ (ベースマシン)	掘削・積込 バックホウ																
		大型ブレーカ ＋ バックホウ (ベースマシン)																	

土木工事積算基準（平成27年5月）の一部修正 修正比較表（その4）

〇〇〇：削除  
太字：追記・修正

ページ番号	現 行							ページ番号	修 正		備 考（内容）
Ⅱ－１－６	表２－１ 機種の規格							Ⅱ－１－６	<div>4. 舗装工事等(機械・人力)</div> <div>(1) 施工概要</div> <div>「平成26年度国土交通省土木工事標準積算基準書 Ⅳ－３－②舗装版破碎工 2. 施工概要」によるものとする。</div> <div>なお、とりこわし舗装版厚さ15 c m以下の場合は、原則として「直接掘削・積込作業」を適用する。</div> <div>(2) 条件区分</div> <div>「平成26年度国土交通省土木工事標準積算基準書 Ⅳ－３－②舗装版破碎工 3. 施工パッケージ（1）条件区分）」によるものとする。</div> <div>なお、人力によりコンクリート舗装版破碎を行う場合は、舗装版種別「アスファルト舗装版」、障害等の有無「有り」を選択すること。</div> <div>(3) 代表機労材規格</div> <div>「平成26年度国土交通省土木工事標準積算基準書 Ⅳ－３－②舗装版破碎工 3. 施工パッケージ（2）代表機労材規格」によるものとする。</div>		●適用基準の修正
	機 械 名	規 格	単位	直接掘削 積込	コンクリート 圧砕機による 舗装版破碎	大型ブレーカ による 舗装版破碎	適 要				
	小型 バックホウ	クローラ型排出ガス対策型（第1次基準値） 山積0.08m <sup>3</sup> (平積0.06m <sup>3</sup> )	台	1			管路掘削 工事のみ				
		クローラ型排出ガス対策型（第1次基準値） 山積0.13m <sup>3</sup> (平積0.10m <sup>3</sup> )	台	1			管路掘削 工事のみ				
	バックホウ	クローラ型排出ガス対策型（第1次基準値） 山積0.28m <sup>3</sup> (平積0.20m <sup>3</sup> )	台	1			管路掘削 工事のみ				
		クローラ型排出ガス対策型（第1次基準値） 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	台	1	1	1					
		クローラ型排出ガス対策型（第1次基準値） 山積0.80m <sup>3</sup> (平積0.60m <sup>3</sup> )	台	1			管路掘削 工事のみ				
	コンクリート 圧砕機	開口幅735～850mm、 破碎力549～981 k N (56～100 t )	〃		1						
	バックホウ (ヘースマシン)	クローラ型排出ガス対策型（第1次基準値） 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	〃		1						
	大型ブレーカ	ブレーカ油圧式600～800kg級	〃			1					
	バックホウ (ヘースマシン)	クローラ型排出ガス対策型（第1次基準値） 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	〃			1					
(注) 1. 舗装版破碎：大型ブレーカ又は、コンクリート圧砕機により舗装版のみを破碎する作業 掘削・積込：大型ブレーカ又は、コンクリート圧砕機により舗装版を破碎後バックホウにより掘削し、積込む作業。 直接掘削・積込：バックホウにより直接舗装版を掘削し、積込む作業。 2. 破碎する舗装版の厚さが15cm以下の場合はバックホウによる直接掘削積込を標準とするが、施工上騒音振動対策を必要とする場合は、コンクリート圧砕機を選定することができる。 3. 「騒音振動対策技術指針の適用地域等」以外の地域の場合においても、施工上騒音振動対策が必要となった場合は、コンクリート圧砕機を選定することができる。											

土木工事積算基準（平成27年5月）の一部修正 修正比較表（その4）

〇〇〇：削除

太字：追記・修正

ページ番号	現 行	ページ番号	修 正	備 考（内容）
Ⅱ－１－７	<p>4. 現場状況、作業量、占用物件等により図2－1及び表2－1により難い場合は、別途考慮する。</p> <p>3. 施工歩掛</p> <p>（1） 舗装版の破碎と掘削・積込の施工歩掛</p> <p>「平成24年度国土交通省土木工事標準積算基準書Ⅳ－3－②－1舗装版破碎工（機械）」</p> <p>4. 施工歩掛4－1舗装版の破碎と掘削・積込の施工歩掛」によるものとする。</p> <p>（2） 舗装版の直接掘削・積込の施工歩掛</p> <p>ア. 舗装工事等における直接掘削・積込</p> <p>「平成24年度国土交通省土木工事標準積算基準書Ⅳ－3－②－1舗装版破碎工（機械）」</p> <p>4. 施工歩掛4－2舗装版の直接掘削・積込の施工歩掛」によるものとする。</p> <p>イ. 直接掘削・積込</p> <p>「平成26年度水道事業実務必携 第二編1－1－3舗装版取壊し積込歩掛表（2）施工歩掛」によるものとする。</p> <p>4. 単価表</p> <p>（1） 大型ブレーカ又はコンクリート圧碎機により舗装版を破碎し、バックホウにより掘削・積込する場合の100m<sup>2</sup>当り単価表</p> <p>「平成24年度国土交通省土木工事標準積算基準書Ⅳ－3－②－1舗装版破碎工（機械）」</p> <p>5. 単価表（1）」によるものとする。</p> <p>（2） バックホウにより直接掘削、積込する場合の100m<sup>2</sup>当り単価表（管路掘削工事）</p> <p>「平成26年度水道事業実務必携 第二編1－1－3舗装版取壊し積込歩掛表（3）単価表」によるものとする。</p> <p>（3） 機械運転単価表</p> <p>「平成24年度国土交通省土木工事標準積算基準書Ⅳ－3－②－1舗装版破碎工（機械）」</p> <p>5. 単価表（4）」によるものとする。</p> <p>（直接・掘削積込の場合）</p> <p>「平成26年度水道事業実務必携 第二編1－1－3舗装版取壊し積込歩掛表（4）機械運転表」によるものとする。</p>	Ⅱ－１－７	<p><del>4. 現場状況、作業量、占用物件等により図2－1及び表2－1により難い場合は、別途考慮する。</del></p> <p><del>3. 施工歩掛</del></p> <p><del>（1） 舗装版の破碎と掘削・積込の施工歩掛</del></p> <p><del>「平成24年度国土交通省土木工事標準積算基準書Ⅳ－3－②－1舗装版破碎工（機械）」</del></p> <p><del>4. 施工歩掛4－1舗装版の破碎と掘削・積込の施工歩掛」によるものとする。</del></p> <p><del>（2） 舗装版の直接掘削・積込の施工歩掛</del></p> <p><del>ア. 舗装工事等における直接掘削・積込</del></p> <p><del>「平成24年度国土交通省土木工事標準積算基準書Ⅳ－3－②－1舗装版破碎工（機械）」</del></p> <p><del>4. 施工歩掛4－2舗装版の直接掘削・積込の施工歩掛」によるものとする。</del></p> <p><del>イ. 直接掘削・積込</del></p> <p><del>「平成26年度水道事業実務必携 第二編1－1－3舗装版取壊し積込歩掛表（2）施工歩掛」によるものとする。</del></p> <p><del>4. 単価表</del></p> <p><del>（1） 大型ブレーカ又はコンクリート圧碎機により舗装版を破碎し、バックホウにより掘削・積込する場合の100m<sup>2</sup>当り単価表</del></p> <p><del>「平成24年度国土交通省土木工事標準積算基準書Ⅳ－3－②－1舗装版破碎工（機械）」</del></p> <p><del>5. 単価表（1）」によるものとする。</del></p> <p><del>（2） バックホウにより直接掘削、積込する場合の100m<sup>2</sup>当り単価表（管路掘削工事）</del></p> <p><del>「平成26年度水道事業実務必携 第三編1－1－3舗装版取壊し積込歩掛表（3）単価表」によるものとする。</del></p> <p><del>（3） 機械運転単価表</del></p> <p><del>「平成24年度国土交通省土木工事標準積算基準書Ⅳ－3－②－1舗装版破碎工（機械）」</del></p> <p><del>5. 単価表（4）」によるものとする。</del></p> <p><del>（直接・掘削積込の場合）</del></p> <p><del>「平成26年度水道事業実務必携 第三編1－1－3舗装版取壊し積込歩掛表（4）機械運転表」によるものとする。</del></p>	●適用基準の修正
Ⅱ－１－８	<p>第3－2. 舗装版破碎工（機械・舗装工事等、人力）</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>この資料は舗装工事等における、コンクリート舗装版、アスファルト舗装版、コンクリート＋アスファルト舗装版の破碎作業及び掘削、積込の作業に適用する。なお、現場状況、作業量、障害物等により機械施工できない場合、又は幅1.0m以下に適用する。</p> <p>2. 施工概要</p> <p>「平成26年度国土交通省土木工事標準積算基準書Ⅳ－3－②舗装版破碎工」によるものとす</p>	Ⅱ－１－８	<p><del>第3－2. 舗装版破碎工（機械・舗装工事等、人力）</del></p> <p><del>1. 適用範囲</del></p> <p><del>この資料は舗装工事等における、コンクリート舗装版、アスファルト舗装版、コンクリート＋アスファルト舗装版の破碎作業及び掘削、積込の作業に適用する。なお、現場状況、作業量、障害物等により機械施工できない場合、又は幅1.0m以下に適用する。</del></p> <p><del>2. 施工概要</del></p> <p><del>「平成26年度国土交通省土木工事標準積算基準書Ⅳ－3－②舗装版破碎工」によるものとす</del></p>	●適用基準の修正